



九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第22号
2009年7月発行・東久留米「九条の会」
代表者 古田足日・連絡先 鈴木 TEL 042-473-9489
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>

考えを

深めておきたい

東久留米「九条の会」代表

古田足日

ここせいぜい二年余りのあいだに、日本国憲法とかがわる世界、日本の大きなできごとが幾つもありました。ぼくにりにそれを勝手に三つあげますと、北朝鮮が核爆弾を持ったこと、日本政府が海賊対策としてソマリア沖に海上自衛隊を派兵したことで、「百年に一度」という形容つきの世界的不況が起こったことです。

北朝鮮の核に対して日本の中で日本も核兵器を持つという声があることが報道されました。この核に対して核という考えには背筋が寒くなります。より強力な核を求める核競争はお互いを不安におとし入れ、もし実際に使われた場合にはそれぞ

れの国民は瞬間に地獄に放り込まれます。核爆弾など持つ必要はまったくありません。

ただこのことによつて、北朝鮮の脅威は一層高まりました。核は別にしても、北朝鮮に対抗するためにもつと強力な軍備を持つとう。自衛戦争はあつてもよいのではないか、という声も聞こえてきます。

それからソマリア沖への海上

私の主張

自衛隊派兵の件。これをよくないとするならば、日本は国際社会の一員としての責任を果たさないのではないか、という声もあります。

こうした声にどのように対応していくか。この二つの問題に答える力と信念を持ちたい、そして、人々と話していこうとぼくは思っています。

三つ目、この世界的不況のなかの日本で派遣村がつくられ、かくされていた貧困の問題が明らかになりつつあります。そのことで憲法を守り活かす運動は九条だけではなく、二十五条の生存権も含むものとして新しい展開を見せてきました。

さて、「改憲」国民投票法施行は2010年5月18日です。もう目の前です。その国民投票で改憲論を打ち破る。そのために自分でも考えを深めておきたいことを書き記しました。



東久留米

「保育9条の会」2周年

— 二二〇名の参加で大盛況でした —

私達の会も2周年を迎えお祝いをしました。

「平和が一番・ことしは人形劇」と題して、5月24日(日)

11時から、商工会館にて市内の人形劇団けやき座による、「こぎつねコンとこだぬきポン」がメインの60分のプログラムで開催しました。雨降りにもかかわらず、大勢の親子の皆さんが来て下さいました。

群読「ちいさないのち」では、最後の「この素敵な憲法9条を変えて、戦争の出来る国にしてはいけない」まで「しーん」として、ひと言も聞き漏らすまいとする、だっこの赤ちゃんからおとなたちまで。

続く「ちいさないのち」の歌を会場と掛け合いで大合唱・若

— 東久留米「保育9条の会」2周年記念 —
子どもたちと子育てにかかわるすべてのひとたちのつどい

平和が一番 ことしは 人形劇



人形劇団 けやき座

「こぎつねコンとこだぬきポン」

日時：5月24日(日) 11:00~12:00(10:50に集まってね！)
場所：東久留米商工会館3F

子どもたちの未来に戦争のない平和な社会を願い、保育9条の会は語りあったり、学習しあったりしてきました。今回は手遊びや人形劇を楽しみ、子どもたちと共感しあえるひとときにしたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

大人(協力券)	1枚 300円
子ども	無料
(協力券は各園の係まで声をかけてください)	

主催：東久留米「保育9条の会」
(問合せ先) 473-3923
(さいわい保育園) 藤田

いお父さんも頭を振りふり歌つてくれて、今まさにみんなで生きている・会場がつながれたひと時でした。

そして人形劇です。きつねと

たぬきの子どもの友だち作りのお話。と思つて楽しく見ているうちに、なにやら考えさせられるテーマが・

違いのある隣人と、どうわか



りあうか？怖がったり、戦ったりするんじゃないかと、「相手の事を良く知る事が大事」と思えてくるのです。

「国と国との困りごとは戦争ではなく話しあいと解決する。」この国がずっとそうであつて欲しい。なぜなら「子育ては平和じゃなくちゃやっていけない」から。

そんな願いを新たにした、保育園関係の親子の皆さんと集まった2周年のお祝い会でした。

代表 脇田 照美

東久留米 「西部九条の会」3周年

「西部九条の会3周年のつどい」は、「戦争しか知らない子どもたち」をテーマに6月20日(土)西部地域センターホールで開催、子どもたちを含め約120名が参加しました。

M M C Cの今川夏如さんが「アフガンの子どもたち」の映像とお話、つづいて「みんなの夢の音楽隊」メンバーの伴奏で「歌で広げよう『ひとの輪』」を西部地域の子ども8人、他地域5名、大人6人の19名が舞台のうえで歌いました。曲は「ともだちになるために」「翼をください」「すべてを歌に」の手話ソング3曲、手話を交えて歌い始めると子どもも元気な姿をみはじめ、会場の参加者も手まねをはじめ、手話と歌で会場は一体となりました。

歌の間では子ども二人が、

自分の夢を語り、そして自分のことだけでなく、他国の子どもたちに思いを寄せるやさしさが



話されました。

会場の参加者たちは、子どもたちから元気をもらいました。

この後、あいさつや活動報告があり、「おらが街の九条の会」活動を継続してすすめていくことになりました。

後日談として、今川さんや夢の音楽隊のメンバーから、こんなにいい会になったのは始めてといてよく、仲間や地域の人に「東久留米はすごくいい」と評判になっっているそうです。

(大野)

子ども二人の詩を紹介します。

しょうらいのゆめ

かとう めい (九歳)

わたしのゆめは、ほいくえんの先生になることです。
小さい子が好きだからなりたいです。
元気で子どもたちとたくさん遊ぶ先生になりたいです。
お母さんにしょうらいのゆめを言ってみたら「いいね」といってくれました。
うれしかったです。

私の好きなこと

原 まりこ (十三歳)

私の好きなことの一つに、ダンスがあります。

音楽に合わせて体を動かしていると、とっても楽しいです。

上手じゃなくてもすごくおもしろいし、ずっとやってたいと思います。

私は今すごく楽しいです。

でも、私みたいには好きなことができない人もいます。

私は歌も好きです。

私が合唱団で歌った曲の中にイラクの子どもの歌があつて、歌詞の中に「私のほしいのは平和だ」というところがあります。

私はその歌を知った時、かなしくなりました。

今のイラクでは、好きなこともやりたいこともぞめません。みんな平和を待っているんだと思います。

でも、好きなことをやれないなんて、すごくつまらないと思います。だから、みんなが好きなことをずっとやれるようになってほしいです。

だから私も好きなことをずっと続けたいです。

女性「9条の会」にて

氷川台 読者 M

少し古くなりますが、女性「9条の会」4周年記念の集いがありました。

97歳とご高齢だから、日野原重明先生のお話を聞ける最後のチャンスかも知れない。どの私の思いは失礼な事でした。お元



気そのもので、背筋もピンと、立ち通して話され、8年先まで講演の依頼が来ています。と「いま、伝えたい大切なこと」を熱く、楽しく語られました。

ピアノ演奏の語りの中でシヨパンが2度と帰ることのなかった故郷ポーランドへの思いを曲にこめているということも初めて知った感動でした。

呼びかけ人の吉武さん、小山内さん他、ご高齢にもかかわらず前向きのパワーにもおされ

「9条を守ろう」「真の平和を」の呼びかけに賛同の手続きをし、私もできることで「9条守ろう」を広げていこうと思った心にしみる集いでした。



平和を考える



訪ねてみよう

戦争を学ぶ

ミュージアム／メモリアル

「記憶と表現」研究会著

岩波ジュニア新書



この本は岩波ジュニア新書として若者に向けて、戦争への理解と平和への願いをこめて、ミュージアムとメモリアルの紹介と解説をしています。

人間が起こした戦争の記憶として、国内だけではなくアジアやヨーロッパ、アメリカの施設も紹介しています。

いわゆる「負の部分の記憶」というものを、しっかりと認識し記憶することが平和への原動力につながるでしょう。序文には高橋哲也氏が執筆しています。

「声」のコーナーでは、皆様からの投稿を募集しています。事務局までお寄せください。

氏名・住所・電話番号を明記の上、匿名希望の場合はペンネームを。フアクス

042(478)3266

Eメール

hgskj@jcom.home.ne.jp

◎毎月9日は『9の口宣伝』

「いっしょに参加しませんか!」午後4時〜5時
東久留米駅西口で
「憲法九条」を「守り」「広げる」
宣伝をしています。

お知らせ

- ◆南部九条の会—「戦争体験の話」を聞く
2009年7月18日(土)午後2時から 南部地域センター
- ◆ピースの木 vol.3 Tシャツ 100人展
2009年8月1日(土)〜5日(水) スペース 105
出品・参加費 500円 問い合わせ森田 422-9577 富樫 475-5499
- ◆東久留米九条の会 4周年のつどい
講師 渡辺 治 (九条の会事務局・一橋大学大学院教授)
歌 こんぺいとう
2009年10月18日(日)午後1:30開場 2:00開演
成美教育文化会館グリーンホール
協力券 500円 (高校生以下無料)